

# いみず



バリアブレイクして  
生きていこう!!



【地域共生社会 共に生きる】をテーマに「射水市がどんなまちになったらよいか」について毎号、関連ある方々に想いを書いていただきます。今回は、特集で紹介しました、特定非営利活動法人「ふらっと」宮袋さんのメッセージです。

お問合せはこちらまで

【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

 **社会福祉法人 射水市社会福祉協議会**

〒939-0351 射水市戸破4200番地11 救急薬品市民交流プラザ2階  
総務課 ☎55-5201

〈E-mail〉 [honsho@imizushakyo.jp](mailto:honsho@imizushakyo.jp)  
〈ホームページ〉 <http://www.imizushakyo.jp/>



特集 誰もが自分らしく生きられる

～インクルーシブ社会の実現を目指そう!!～ P2

障がい者地域活動支援センター P4

第18回 射水市社会福祉大会 P5

すてっぷからのお知らせ P6

新学生プロジェクト P7

社協からのお知らせ P8

この広報紙は、一部共同募金の助成を受けています。



# 誰もが自分らしく生きられる ～インクルーシブ社会の実現を目指そう!!～

障がいの有無や性別、性的指向・性自認、国籍、年齢などそれぞれが持つ多様な違いを認め合い、誰一人排除されることなく共に生きる社会を【インクルーシブ社会】と言います。

インクルーシブ社会の実現に向けて、障がいのある方や生きづらさを抱えている人など地域や私たちができることを考えてみましょう。

12/3～9 【障害者週間】

障害への関心や理解を深め、障害のある方の様々な活動を促進する週間

12/10 【世界人権デー】

人権活動を推進、広報啓発活動を行う日



## 講演会

### 「インクルーシブ社会の実現を目指して ～心のバリアの正体を知ろう～」

一般社団法人Ponteとやま 代表理事 水野カオル氏

10月7日(月)に開催した射水市社会福祉大会において、一般社団法人Ponteとやま 代表理事 水野カオル氏に講演していただきました。

水野氏は、みやの森カフェ(砺波市)を拠点に、子どもたちや若者たちの居場所づくりや就労サポート、赤ちゃんやママのためのサポートセンターなど、様々な活動に取り組んでおられます。

講演会では、誰もが共に生きる地域社会に向けて、地域に居場所やコミュニティを形成し、様々な受け皿をつくることやネットワークの輪を広げること、関係機関とのつながりの大切さ、情報発信の仕方や手法など、たくさんの想いを伝えていただきました。インクルーシブ社会の実現に向けて、個人や地域でどのような活動ができるかなどを考えるきっかけとなりました。



今回の特集では、射水市において障がい者支援や居場所づくりを行っておられ、また当事者の親の立場でもある特定非営利活動法人ふらっと代表宮袋季美氏にインタビューを行いました。

ふらっとの活動内容を教えてください。



アロマやエステ、韓国コスメの体験など、今どきのことを普通にやる。それを活動にしている。



地域のお祭りなどの特別な日に積極的に参加している。



地域や住民の方とつながりを持ち、知り合い顔見知りになり、街であつた時に声をかけてもらっている。自分たちのことを慣れてもらう、受け入れてもらうため、イベントや祭りを通じて地域の中でつながりのきっかけづくりを行っている。

地域の中でつながりのきっかけづくりを行っている。

障がい者支援について、どのような気持ちや想いで携わっていますか。

「支援する」「支援される」という言葉は嫌い。障がいを「支援する」「支援される」で分けてほしくない。



ふらっとでは、障がいの垣根を取るような活動をしていきたい。

病気や障がいは、方々に人間を卑屈にさせる。

支援される側にいると諦めざるを得ないことが多い。色々な人と交わることで、活動の中で人としての誇りを復活させる。

ふらっとを利用してくださる方々に『ありがとう』の気持ちを常に持ち『感謝する』ことをとても大切にしている。



障がい者の方や生きづらさを感じている人達と一緒に過ごすことで、普段の生活では気づかないことを発見させてもらっている。

## 宮袋さんからのメッセージ ～誰もが共に生きる社会を目指すためには～

今の子どもたちの方が、障がいに対して受け入れている。おそれない。身近にあると感じている。世の中全体が、障がい者に対しての理解が進んできているのではないかな。マスコミをはじめSNSなど発信が多くなってきているように感じる。

まだまだ、世の中にはいろいろな人たちと出逢う機会が少ないから、かまえたりおそれたりするのではないかな。まず、いろいろな人を知ることが必要。



地震や豪雨災害の経験から、人は自分一人では生きていけないと改めて感じた。

いざという時ではなく、**普段から楽しいことを一緒にやって、つながりや顔が見える関係を作っていく。**

障がいのある方が、一人になった時に慣れ親しんだ地域や家で過ごすことができる仕組み作りを行い、**本人が本人らしく、普通に生きていける変わらない社会を目指したい。**

障がいのある方が地域で暮らすには、**地域の諦めというか、バックヤードが必要。「あそこに住んではね」「そっかー」というくらいで・・・。地域は障がい者の「裏支え」になってもらいたい。**

射水市社会福祉協議会は、支援を必要としている人と、そこに住む人々や福祉に関係する人々が、互いにつながり支え合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりの担い手として、地域の皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。



# 『障がい者地域活動支援センター』について 聞いたことありますか？

障がい者地域活動支援センターは、障がいのある方の社会交流や創作活動の機会の提供を通じ、障がい者の自立した日常生活や社会生活を支援する活動場所です。

障がいのある方やその家族、地域の方などから、福祉サービスの利用、日常生活、就労・進路に関する相談などを無料で行っています。また、事業所ごとに畑作業、料理やカラオケ、バーベキュー、スポーツ観戦など楽しい活動を企画しています。

射水市には、障がい者地域活動支援センターが4か所ありますので、紹介します。

## あいネットいみず

射水市七美727番地 ☎86-8522  
<http://www.imizuen.jp/inet/>

活動として、昼食・おやつ作りでは、季節に合わせたものを選び、利用者の方が自分で調理できるように工程を工夫しています。創作活動では、押し絵や書初め等を行い、完成後は大満足な表情が見られます。

毎月、七美コミュニティセンターで地域のボランティアの方が作った美味しいカレーを食べ、カラオケをしています。月に一度の活動であるため、多くの利用者の方がとても楽しみにされています。お出かけでは、お花見や作品展に行き、息抜きできる時間を作っています。



## ふらっと

射水市太閤町4番地 ☎56-6661  
<http://toyamagata.com/furatto/>

赤ちゃんからお年寄りまで、障がいの有る無し関わらず、いろんな人と交流ができる地域の居場所を作っています。

LGBTQ+\*の方やひきこもりの方など居場所として過ごされています。色々な方たちと交流でき、一緒に活動するのがふらっとのスタイルです。

子ども向けや大人向け、親子向けの活動や、介護をしている家族の方たちでランチ会を行っています。ぜひふらっとに遊びに来てくださいね。



## つどい

射水市三ヶ3721番地8 ☎55-4110

20代から60代まで、幅広い世代の利用者がいて、少人数で活動しています。

毎月ミーティングを開催し、利用者の声をきいてプログラムを作成しています。

創作活動に加えて、季節を感じるイベントを企画したり、地域活動として小

杉駅や下条川周辺での街頭清掃も行っています。

利用者の方の  
声



来たいときに来られる、帰りたいときに帰れる、自由な場所として利用させてもらっています。決め事がない分、気分に合わせて来れるので、ありがたいな～と感じています。



## むげん

射水市棚田59番地 ☎52-1737

障害に応じ当事者の自立を目的とした仲間づくりや食事作りの体験、悩み事や困りごとの解決に向け、担当スタッフと納得がいくまで支援を行っています。

また、当センターの大きな目標に、近隣地域の方々や障がいを持った方との顔が見える支え合いのある活動事業があり、納涼祭やサロンでのカラオケ大会、作品展などを開催し、地域社会との連携と社会参加促進の活動を行っています。



地域の方の作品展～押絵～



コミュニティカフェ「よってかれま」でのアロマ教室

利用等に関しては、各機関や射水市社会福祉課（☎51-6626）までお問合せください。

\* セクシュアルマイノリティ（性的少数者・性的マイノリティ）を表す総称のひとつです。



# 第18回 射水市社会福祉大会

令和6年10月7

日(月)、アイザック小杉文化ホールラポールにて「第18回射水市社会福祉大会」を開催しました。

式典では、社会福祉に貢献された32名3団体の方々へ、門田会長より表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈を行いました。

その後、地域共生社会の実現に向けて、一層努力することを宣言しました。

## 動画配信

一般社団法人Ponnteとやま代表理事 水野力オル氏の講演内容を、一般社団法人ガチヨックさんの協力により本会のYouTubeチャンネルで10月28日(月)から配信していますのでぜひご覧ください。



表彰状の授与の様子



受賞者の皆さま

## 受賞された皆さま おめでとうございます

(順不同、敬称略)

### 射水市社会福祉協議会会長表彰

#### 社会福祉事業関係者及び団体

長きにわたり社会福祉活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

#### 個人

帯刀 毅	中山千恵子	澤 定之
上村 トモ	瀬木 昭博	山崎 京子
中村 雅一	安藤 繁	梅尾 啓子
中島 雅恵	夏野 仁美	曾根 正人
森田ひとみ	島田 公志	石丸 佳子
源 照子	筒口 和子	山田美智子
川口 希	高島 幸治	中町 公子
荒川 政信	橋本 清	林 美貴子
奈良 静夫		

#### 社会福祉事業協働者及び団体

ボランティア活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

#### 個人

吉久マスマミ	吉田 逸子	藤井 睦子
塘添 明美	福田 暁美	

#### 団体

射水市手話サークルつくしの会  
いみず脳トレクラブ

#### 寄附者感謝状

本会に10万円以上のご寄附を賜りました方に贈られました。

個人 夏野 公秀

団体 富山桜吟会

### 県表彰

#### 富山県社会福祉協議会会長表彰

(民生委員・児童委員功労者の部)

個人 綿谷 淳子

(社会福祉事業関係功労者の部)

(優良社会福祉協議会・団体の部)

団体 太閤山社会福祉協議会

榊田地区社会福祉協議会

(ボランティア活動参加者の部)

個人 吉岡ひろ子 前田 慶子

団体 まつたけボランティア

射水市大江赤十字奉仕団

## 生活福祉資金貸付制度（教育支援資金）のご案内

あなたの未来を応援します

### 就学準備できていますか？

入学金、制服等の  
購入費が足りない

進学（在学中）したけど、  
授業料が足りない

進学したいけど  
家の事を考えたら  
言い出せない

こんな悩みは、  
ありませんか？



高校や大学、専門学校への進学に必要な入学金や授業料などの費用をお貸しし、就学の継続や将来の就労に向けて応援することで、ご家庭の自立した生活を支える貸付制度があります。

◎世帯全員の収入が一定基準より少ない方（低所得世帯）が対象です。

◎貸付や公的支援等が受けられる場合は、その制度が優先となります。

利用の主な流れ

射水市社協（すてっぷ）へ相談

申請書類の準備（面談）

富山県社協の審査

貸付決定（就学期間）

卒業6ヵ月後 償還開始

### 毎月定例で開催

#### すてっぷカフェ

ひきこもりなど生きづらさを抱えている方が集まって自由に過ごす場所です。  
※途中参加、退会は自由です。

日時 11/21(木)、12/19(木)、  
1/16(木)、2/20(木)  
13:30～15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

#### すてっぷカフェ家族会

ひきこもりなど生きづらさを抱えている方のご家族（両親・兄弟・親戚など）が集まって自由に過ごす場所です。  
※途中参加、退会は自由です。

日時 11/30(金)、12/21(金)、  
1/25(金)、2/22(金)  
13:30～15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

#### ひきこもり相談会

ひきこもりに関する悩みや不安などの相談に専門資格をもった相談員が対応します。

日時 11/12(水)、12/10(水)、  
1/14(水)、2/12(水)  
13:30～16:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

## ひとりで悩まず 一度ご相談ください

相談・参加 無料

秘密 厳守

相談・問合せ先

射水市ふくし総合相談センターすてっぷ  
☎55-5203  
☎55-5204（ひきこもり相談専用ダイヤル）  
E-mail: step@imizushakyo.jp



▲すてっぷの紹介

災害ボランティア活動を行っている学生さんをクローズアップし、毎号シリーズとして学生さんの思いや気持ちを読者の皆さんに届けます。

# 新学生 プロジェクト

ふじた ゆり  
藤田 結鈴さん  
(13歳)

今回は、令和6年5月に石川県能登へ行き、災害ボランティア活動を行った中学1年生藤田さんの紹介です。



1

## どのような活動をされましたか

被災地に行って、高齢者夫妻の家の崩れた瓦を片付けました。敷地にはがれきが散乱しており、鉄の棒などがむき出しになり、人がけがをしないように道の端に寄せる活動を行いました。

2

## 現地でのボランティア活動をしようと思ったきっかけを教えてください

ニュースを見て建物が崩壊している様子や、私自身が1月1日に富山で地震を経験し、ものすごい恐怖を覚えたからです。また、私の周りでも家が傾き、地震が終わっても被害はたくさん残っており、困っている人がたくさんいることを知りました。自分にできることは何か、自分の力で助けをあやめることは何かと考えると、自ら気づき行動しました。

3

## 災害を通じて、若い世代へのメッセージ

少子高齢化が進み、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんが自分で崩れた瓦を持ち上げ片付けようとすると、けがのリスクもあるし、若い人の力が重要だと感じています。地震を経験したかしていないに関係なく、自分の事だと思い、困っているお年寄りの力になろうという思いで行動することで、本当に助かる人々がたくさんいます。

ボランティア活動は、たくさんの方が協力してとても大変でしたが、終わった後は「助かりました」と言ってもらい達成感を感じました。もっと助けをあやられるなら手伝いたいと思いました。自分ひとりで無理だろうと考え諦めるのではなく、実際に行動してみてください。それだけで、大きな力になります。1日でも早く被災した人々が、日常をとりもどせるよう願っています。

## 心配ごと相談

日常生活から生じる心配ごと、悩みごとに関する相談に、民生委員・児童委員が適切な助言を行います。

問い合わせ 地域福祉課 ☎55-5202

### 小杉相談所

- 日時 11/5☎、11/19☎、12/3☎  
12/17☎、1/7☎、1/21☎  
13:30~15:30
- 場所 救急薬品市民交流プラザ  
(1階ミーティングルーム)



